



ふるさと岩室への思いを乗せて…「矢川灯籠流し」

岩室中学校

今年で9回目を迎える「矢川灯籠流し」。ももとは岩室中学校の生徒と武蔵野美術大学の学生が協力し、新潟市「オンリーワンスクール支援事業」及び「いわむろのみらい創生プロジェクト」のもとで始めたものです。今やすっかり岩室温泉街の風物詩となり、地域の方々と多くの観光客が楽しみにしている行事です。

岩室中学校では、美術や総合学習の時間を使って、全校生徒が「マーブリング」という技法で台紙を染め、地域への想いを綴った自作の俳句をそこに書きます。当日は、地域の方々と協力して灯籠を組立て、矢川に流します。暗闇の中、小さな灯りがゆったりと動いて流れていく様子は、とても幻想的です。

事前学習

ふるさとの川、矢川を大切にしてきた岩室地域の方々。事前学習として、地域の方から、水との闘いの歴史や矢川灯籠流しの由来などを学びました。

カッコいい模様が出来た！



灯籠づくり



美術で習った「マーブリング」という技法を使って、台紙を染め上げます。

輪切りにした間伐材を土台にします。



素敵な灯籠のできあがり！俳句コンクールも行われ、小学生も含めて9名が表彰されました。



点火・運搬 6月10日(土)

どんどん運ぼう。傾けると燃えてしまうので気を付けて！

地域の方々と協力して灯籠に灯をともします。たくさんあるなあ。



いよいよ川に流す作業。1つずつ、リレー方式で運んでいきます。最後は地域の方が舟で川に流します。



夜になると、流された灯籠は一層輝きを増し、幻想的な風景が浮かび上がります。



流した灯籠は回収され、翌週から道路に飾られ、岩室の温泉街を彩ります。



〔入選した俳句〕
〔小学生〕
つかまえた！緑の中から友の声
外出れば畦道歩くキジがいる
きらきらと田んぼに映る夕日たち
水田の水面に映りし弥彦山
〔中学生〕
春になり野原にクレヨン落ちたよう
のせてゆけみんなの夢と自然とね
灯籠にみんなの思いがつまってる
灯籠が君と見たから輝いた
灯籠や先祖の魂思い馳せ
夕闇に咲き乱れるは蛍かな

6/17(土)~7/2(日) 19:30~21:30 いわむろ灯りプロジェクト



岩室温泉街を灯籠の灯りで彩り、住民や訪れた人々と初夏の夜を楽しむ。

会場 岩室温泉街
問合せ 西蒲区役所岩室出張所
tel.0256-82-4111